



中央労働災害防止協会

技術支援部国際センター所長

奥村英輝

【照会先】

総務部広報課

間宮直樹

(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225

E-mail koho@jisha.or.jp

『海外進出OSH情報交流会』での参加者アンケート結果 海外進出に係る労働安全衛生面の 情報入手の必要性を実感

(注: OSH: Occupational Safety & Health (労働安全衛生))

中央労働災害防止協会(中災防)は、本年2月3日・東京都港区で、企業の本社関係者を対象に、海外進出に際しての労働安全衛生面の課題・対応策をテーマに、情報交流会(無料)を実施した。その際の、参加者に対する、「情報交流の有効性」「関心のあるテーマ」等についてのアンケートの結果は以下のとおり。

○ 交流会参加者: 66名 (アンケート回答 65名)

【事業場: 化学工業 15名、建設業 9名、サービス業 7名、食料品等製造業 6名、
電機機械器具製造業 6名、輸送用機械器具製造業 5名 等】

【事業場: 規模 300名以上 42名】

【職務: 本社等の安全担当部門、人事総務担当部門等の部課長・グループ長レベルから担当
レベルの方 等】

【アンケート結果の概要】

- 参加者のほぼ全員が、情報交流会は参考になった、と回答。
- 交流会参加の目的は、①安全衛生情報収集と②現地会社等への指導・働きかけに役立てたい、というもの。
- 関心のあるテーマは、①現地の関係情報、②人材育成、③労働衛生管理。
- 関心のある国・地域は、①中国、②ASEAN等アジア諸国、であるが他地域も。
- 有料開催でも約8割が参加を希望。

【結果から読み取れること】

- ①進出地域が世界中に広がっている、
- ②現地に特有な安全衛生関係情報がある一方、これが不足しており、その入手が期待されていること、がわかる。

中災防としては、今後、アンケート結果におけるニーズ内容を精査し、かかる交流会の開催等、今後、専門性の高い安全衛生情報について企業の方々に対して提供していきたいと考えている。

(参考1: 本情報交流会概要及びアンケート結果は、<http://www.jisha.or.jp/international/kouryukai.html>)

(参考2: 今後の情報交流会情報は、順次 <http://www.jisha.or.jp/international/kouryukai.html> に掲載予定)



中災防（注）

中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：米倉弘昌（日本経済団体連合会会長）

理事長：関澤秀哲

中災防ホームページ：<http://www.jisha.or.jp/>

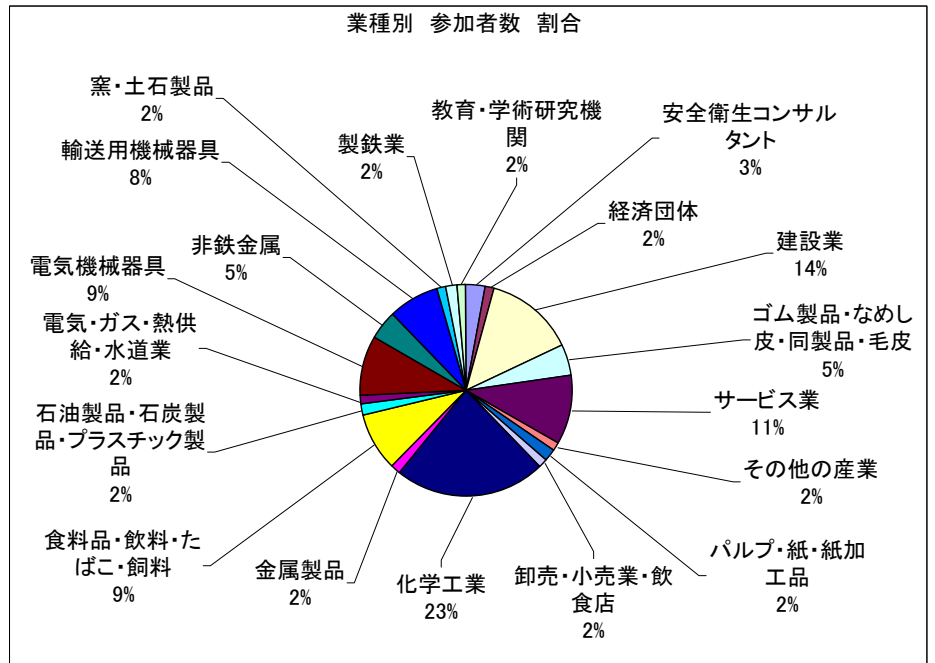
海外進出 OSH 情報交流会参加者アンケート結果概要 (平成 26 年 2 月 3 日、中災防実施)

○参加者数 66 名 (回答 65 名)

○参加者属性：

・事業場業種

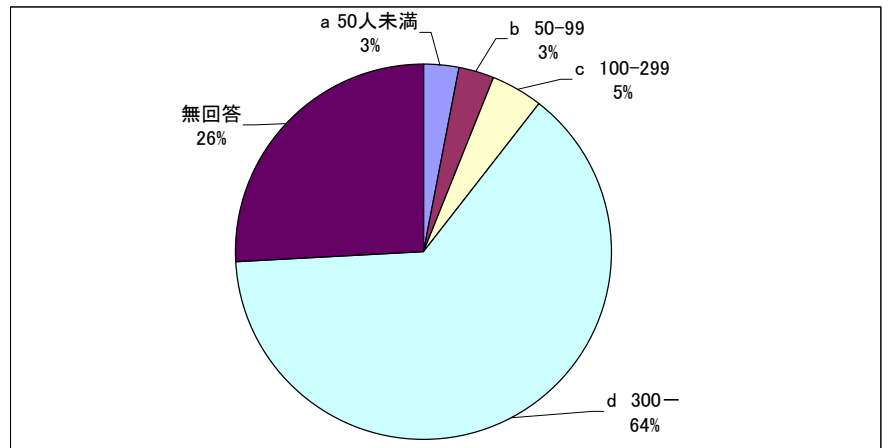
化学工業 15 名、
建設業 9 名、
サービス業 7 名、
食料品等製造業 6 名、
電機機械器具製造業 6 名、
輸送用機械器具製造業 5 名
等



・事業場規模

規模 300 人以上 42 名

注) 本社等の安全担当部門、人事総務担当部門等の部課長・グループ長レベルから担当レベルの方等

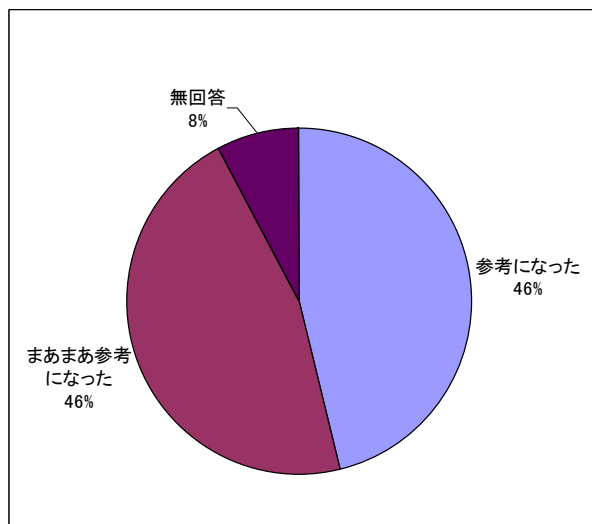


質問：今回交流会へのご意見

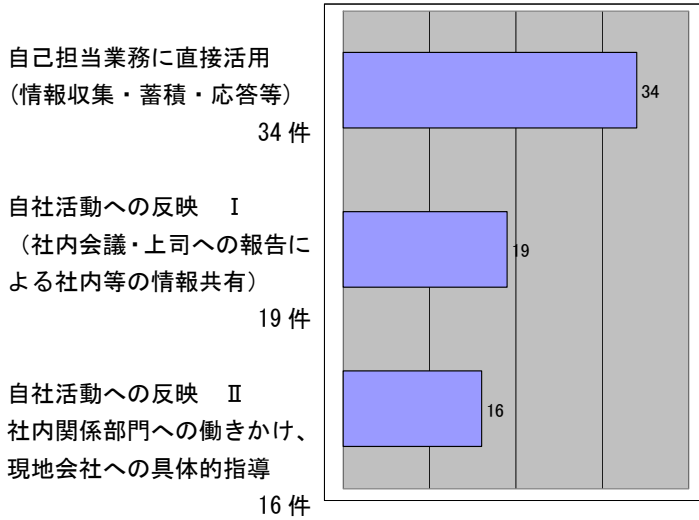
(参考となった、まあまあ参考となった、あまり参考とならず、参考にならず)

・参考 60 名 (98%)

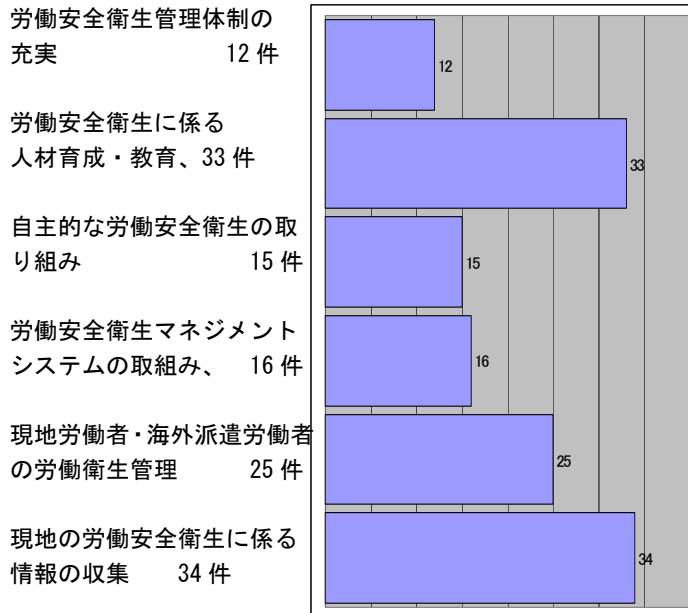
- ・参考となった 30 名
- ・まあまあ参考 30 名



今後の活用方法



質問：今後の希望テーマ



質問：関心のある国・地域

